

1 学期の総括 ～ 70 日間の思いを込めて ～

覚えているのは、初々しい顔で教室に入ってきた君たちの顔。生徒手帳にカバーを互いに助け合いながらつけていましたね。すぐに打ち解ける子、もじもじとしている子、積極的に声をかけている子。一つの宇宙が誕生する瞬間に立ち会っているような不思議な感じでした。それぞれの個性がつながり合いながら、だんだんと形作られている最初の状態でした。

4月は、どことなくよそよそしさと緊張感が漂っていました。そんな中でも授業や部活動が本格的に始まり、忙しい中学校生活が始まりました。慌ただしく、慣れない生活に落ち着きを失ってしまう時期ではありますが、しっとりと落ち着いて過ごせていたことは、このクラスの資質の高さを感じられました。長縄大会の悔しさが、このあとの球技大会へとつながっていきます。

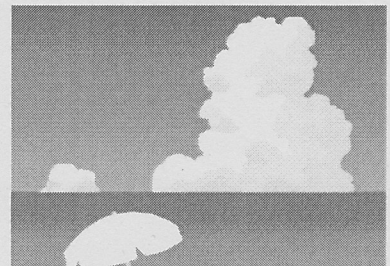
5月は、ゴールデンウィーク明けの中間テスト。初めての定期テストで戸惑うことも多かった。そして、小学校では感じることでできなかった学年内順位というシビアな現実。結果に一喜一憂しながらも、その結果に落ち込むことなく自分のスタート位置をしっかりと確かめ、力強く第一歩を踏み出す子どもたちのたくましが素晴らしく思いました。その歩みの結果が期末テストに表れるのですが…。

6月は、球技大会。応援歌を作り、応援練習をする。一人一人の力ではなく、集団で取り組み事のダイナミズムを実感できた大会となった。体育の授業での子ども達の動きは、体育の先生達から絶賛されていました。大会では女子準優勝という結果を残せたが、それ以上に、4組の強い絆が生まれたことが素晴らしい成果として残せました。そして、期末テスト。中間テストの結果から歩みを始めた子どもたちは、その一歩ずつの積み重ねが自分の力になっていることを実感できているようで、表情には自信に溢れていました。

7月は、よりクラスの団を実感できることが多くありました。高原学校の班を決めたり、旗をデザインしたり、と誰もが一生懸命取り組む姿は美しさを感じました。さらに、挨拶チェックでは、一体感がとてもよく伝わり、一人一人に意識の高さがとてもよく表れていてとても素晴らしい、そして成長しているなとうれしさがこみ上げてきました。

この1学期間、成果もありましたが、当然課題もあります。その一つとしてあげられるのは、表現力です。特に、「自分の思いや考え」を「声に出して表現する」力をつけていきたいと考えています。課題があるからこそ、次の目標もはっきりと見えてきます。2学期に向けて、しっかりと準備しておきたいですね。

夏休みは、自分の時間がたくさんとれます。自由って素晴らしいと思いがちですが、実は自由ほど不自由なものはありません。そこには、自分の行動に対して、自分が責任を取らなくてはならないからです。先を見通して計画的に過ごし、思い出いっぱいな夏休みにしていきましょう。



さあ、中学校生活最初の夏休み！わくわくドキドキしながら充実した時間にしていこうぜ！